

橋南地区将来構想(案)についての意見公募(パブリックコメント)結果

平成 30 年 1 月 15 日 橋南地区将来構想策定委員会

- 1 意見を公募した期間：平成 30 年 11 月 22 日(木)から平成 30 年 12 月 21 日(金)まで
- 2 意見公募の対象：橋南地区将来構想(案)
- 3 意見公募の方法：飯田市ウェブサイト橋南地区からのお知らせに掲載するとともに、対象地区である橋南地区世帯へは、11 月 27 日(火)に配布員を通じて本構想(案)冊子を全戸配布して公表し、文書または FAX もしくは電子メールでの意見を橋南地区内から公募した。
- 4 提出者・意見数：3 人、11 件
- 5 意見公募に寄せられた意見とそれに対する事務局会議の考え方

No.	提出された意見	意見に対する考え方
1	中心市街地活性化計画（飯田市）などの行政計画と上手に連携して、構想にかかる事業を行う際、市と連携して国庫補助等の支援を受けられるような立てつけにしてほしい。	互換性をもち連携・協働する計画として中心市街地活性化基本計画を挙げています。今後、次期中心市街地活性化基本計画へ本構想が反映され、連携していくこととしており、ご意見を参考に組み込みます。
2	12 ページ「めざす柱 3 伝統と文化の中心地をめざして」ゆめの実現に向けて 3 マルシェ、 <u>市場</u> （市場） マルシェ、 <u>フリマ</u> （市場）が正しい。	マルシェ、市場（いちば）と記載します。フリーマーケットもマルシェに含まれるものとします。
3	12 ページ「めざす柱 3 伝統と文化の中心地をめざして」ゆめの実現に向けて 5 法被大門 <u>法被大紋</u> でないという意味が通じない。	ご指摘のとおり「法被大紋」と記載を変更します。
4	12 ページ「めざす柱 3 伝統と文化の中心地をめざして」ゆめの実現に向けて 5 町内会の <u>連絡方法</u> <u>町内会の再編や連携</u>	町内会の再編、連携は「めざす柱 2 人と人のつながりが強い街をめざして」ゆめの実現に向けての項で、「3 自治会組織の再編と組織力強化」に記載しました。本項では、祭り文化の継承について、組織見直しと担い手確保に向けた情報共有として、氏子を中心とした町内会の良い仕組みを記載しました。よって変更を行わず原文のままとします。
5	各柱の「私達のゆめ」と「ゆめの実現に向けて」の違いがよく分からない。あるいは「実現に向けて」が具体性、現実性に乏しい。	「私達のゆめ」は「目的」、「ゆめの実現に向けて」は「目的を達成するための目標や取組事項」として整理しています。ご意見を参考に、構想の事業実施に当たっては、実現性ある具体的内容を決定してまいります。
6	3 つの柱の「実現に向けて」でダブっている項目があるので、3 つを統合したものが最後に必要では？	基本方針として「中心拠点橋南のまちづくりめざします」に 7 項目を明示し、その実現にむけて細分化した「めざす 3 つの柱」を掲げています。この 3 つの柱が独立して推進されるのではなく、相互に連携して推進されることが基本方針の実現には必要となるため、取組事項によって必要な部分が各めざす柱の「実現に向けて」に再掲されます。

7	<p>・空き家・空き店舗の活用について</p> <p>これは当地区ばかりではなく全国地方中小都市も同様な問題を抱えていると思われます。特に増えつつある空き店舗の活用は至難の課題だといえます。下伊那地区村部から集客出来なくなった現在、空き店舗で起業しても長くは続きません。街中の人口減少が第一の要因で、生業となりえないからです。対策としては、知久町、銀座、中央通りにそれぞれ特徴あるストリートとして集約することです。飲食を楽しめる街中央通り、ファッションの街銀座、観光スポットの街知久町といった具合です。これには市を上げて取り組まなくてはなりませんし、全国から観光客を呼び込む必要があります。“歩いて回る商店街”を謳うにはこの地形を活かせば夢ではないでしょう。</p> <p>次に増え続ける空き家ですが、性急に空き地にする必要はないかもしれません。枯れ木も山の賑わいの一面があるからです。第一歩として市に「空き家対策課」を設けてもらい地主さんと新たな住人の仲介になってもらう事です。話がまとまれば建て替え居住してもらえましょう。特に若い世代に持ち掛けることが肝要です。これには税的、社会的優遇処置も必要で。市に対策を練ってもらいましょう。</p>	<p>構想策定中の部会協議では、同様のご意見が出されました。</p> <p>その結果、「めざす柱 1 歩いて暮らせる街をめざして」ゆめの実現に向けての項で「1 空き家空き店舗を活用したチャレンジの支援」と「3 民間活力を活用した個性ある街区形成」にまとめ、記載しました。</p> <p>将来構想を来年度から実行していくにあたり、行政など関係機関との協議の際、参考とさせていただきます。</p> <p>構想の実行に当たっては、ぜひ当事者として加わっていただきますよう、お願い申し上げます。</p>
8	<p>・りんご並木の整備</p> <p>橋南最大の呼び物「りんご並木」、これを活かさぬ手はありません。しかし、現在の造りには疑問を感じます。公園なのか道なのか分かりにくく中途半端で寛ぎのスペースに事欠いています。それには完全公園化が理想ですが、車が入れないので困ります。そこで提案ですが、並木西側を車道とし、歩道や駐車帯を設けます。東側は完全公園化し、車の進入を無くします。意味のない“ご用水”と称する堀は埋め立てます。これにより訪れた人々はゆったりと寛ぎの一時を過ごせるでしょう。</p>	<p>構想策定中の部会協議では、同様のご意見が出されました。</p> <p>その結果、「めざす柱 3 伝統と文化の中心地をめざして」ゆめの実現に向けての項で「3 桜並木や動物園、中央公園、扇町公園等と回遊性のあるりんご並木の活用」にまとめ、記載しました。</p> <p>将来構想を来年度から実行していくにあたり、行政など関係機関との協議の際、参考とさせていただきます。</p> <p>構想の実行に当たっては、ぜひ当事者として加わっていただきますよう、お願い申し上げます。</p>
9	<p>・動物園について</p> <p>週末の好天に誘われ親子連れが多数来園する姿を見受けられます。私も孫を連れ頻繁に訪れますが、観たい動物は限られ、感動を覚えるのはペンギン舎ぐらいです。正面のビーバーのブースには肝心の動物が居なく愕然とする思いです。メインの場所ですからレッサーパンダとか人気のカピバラなどを飼ったらどうでしょうか？見栄えする動物を飼育すれば入園料徴収も可能かと思われます。</p> <p>隣接の四季の広場は寂しい限りです。洞になっていますから開放感が無く陰気なイメージでとても高齢者には近づきたい場所です。実際下りてみても目に付くのは階段ばかり、遊具施設として奥に滑り台が一基あるのみ。これでは脚の運動にしかありません。そこで提案ですが、思い切って埋め立てたらいかがですか？それには大規模な愛宕側の壁工事や源長川のパス工事が必要になりますが…。埋め立てにはリニア掘削工事から出る残土で賄う。このタイミングを逃してはなりません。これが叶えば夢のような話です。動物園と愛宕神社を結ぶ住民憩いの広場、公園となります。どんな公園にするか…夢が膨らむばかりです。</p>	<p>構想策定中の部会協議では、同様のご意見が出されました。</p> <p>その結果、「めざす柱 3 伝統と文化の中心地をめざして」ゆめの実現に向けての項で「3 桜並木や動物園、中央公園、扇町公園等と回遊性のあるりんご並木の活用」にまとめ、記載しました。</p> <p>将来構想を来年度から実行していくにあたり、行政など関係機関との協議の際、参考とさせていただきます。</p> <p>構想の実行に当たっては、ぜひ当事者として加わっていただきますよう、お願い申し上げます。</p>

10	<p>・県外からの観光客誘致について【マラソン大会の実施】</p> <p>昭和に隆盛を極めた丘の上商店街、このままでは益々活況を失うばかりでしょう。歯止めをかけるには県外者に飯田の街の魅力を知らしめ、来訪してもらう他ありません。ではどのような方策があるのか考えたとき、ふと思ひ浮かんだのがマラソン大会を開催する事です。ネットや様々なメディアに働きかけマラソンを通じて飯田の街の魅力をアピール、全国に無数ひしめくランナーたちは必ず目を通します。フルマラソンには大多数のランナーたちが、ランネットでエントリーしますが、申込みと同時に定員に達する人気です。いきなりフルマラソンとはいかなくてもハーフで充分です。開催が定着すれば5,000人のランナーが見込まれます。因みにハーフマラソン大会が定着しつつある駒ヶ根市では大会出場総数4,129人中、県外者が50%を占めています。さらに地元出走者は27%に過ぎませんから殆どが外来者となり、当然ながら宿泊者も多数が見込まれます。</p> <p>仮に、飯田マラソン（仮称）を開催したときどんなコース取りをするか考えるのも一興です。集合場所を市庁舎、スタートを知久町1丁目に設定、銀座から伝馬町～桜町～錦町～飯田駅前～中央通りと市内を巡り、谷川線を下る。弁天橋から下久堅を抜け、水神橋を渡り帰路となる天竜川堤防道路を走る。松尾上溝橋を渡り、江戸浜通りを北上、締めは桜並木～リンゴ並木～ゴールの知久町2丁目へ。多数のランナーたちが飯田の街を駆け巡る…。想像しただけでも楽しくなりませんか？そしてラン前夜に飯田の夜の街を楽しむ宿泊組の若者たちを想像してみてください。</p>	<p>将来構想を来年度から実行していくにあたり、行政など関係機関との協議の際、参考とさせていただきます。</p> <p>構想の実行に当たっては、ぜひ当事者として加わっていただきますよう、お願い申し上げます。</p>
11	<p>・県外からの観光客誘致について【プール跡地の利用】</p> <p>もう一つ、橋南に勿体ない敷地が放置されていませんか？…。それは、元市民プールの跡地です。更に大胆な発想ですが、これを活かす手段として「屋内プール」を造る事です。市内の水泳愛好者は勿論、日ごろ身体を鍛えたいと願っている人々に核となる存在になり得ます。通年利用できますから児童たちの泳力促進にも大いに貢献、水中運動や歩行のサークル活動にも期待できます。ネックはランニングコストがかかる事です、三宜亭さんからおぼれの温泉を引きこんでもらえば双方に益大です。実現すれば地域住民の拠り所となり、恒常的に橋南以外の人たちを引き寄せるツールと成り得るでしょう。松川町の町営屋内プールを参考にしてみてください。</p> <p>以上2点、観光客誘致方策を述べましたが、英知を絞れば他にいろいろと浮かんでくる筈です。橋南地区の将来展望、“具体的に何をどうするか”です。抽象的な理想論は何百回、何千回唱え訴えても何も起こらないし生まれないとします。</p>	<p>将来構想を来年度から実行していくにあたり、行政など関係機関との協議の際、参考とさせていただきます。</p> <p>構想の実行に当たっては、ぜひ当事者として加わっていただきますよう、お願い申し上げます。</p>